

平安神宮の時代祭に参加する

維新勤王隊のルーツを探る！

丹波・山国隊

—時代祭「維新勤王隊」の由来となった草莽隊—

浅川道夫・前原康貴 著

丹波山国の郷士たちによって結成された草莽隊である「山国隊」の結成から戊辰戦争参戦を経て時代祭に参加するまでの経緯と、時代祭を通じて山国隊（維新勤王隊）による新たな祭祀形式が京都市中に伝播するまでの流れを通史として解説。

平安神宮・元祇園榊神社・熊野神社・藤森神社・清明神社・西院春日神社の少年勤王隊や鼓笛隊、さらに本家・山国神社の「山国隊軍楽保存会」等によって現在でも伝承されている鼓笛軍楽、現存する東征装束や武器についても、多くの貴重な写真・史資料をもとにまとめた書。



定価1,800円(税別)
平成28年5月発行
四六判・並製本・192頁

目次

はじめに
第一部 通史
一 山国隊の結成
(一) 禁裏御領地山国の成立 ——平安京と共に——
(二) 禁裏御領地復帰運動と官位拝任
(三) 山国隊の結成と郷士たちの分裂
(四) 山国隊の兵式と編成
二 山国隊の東征参加
(一) 京都発陣
(二) 野州への出陣
(三) 彰義隊討伐
(四) 小田原への出陣
(五) 奥羽への出兵
(六) 京都への凱旋
三 京都時代祭と山国隊
(一) 時代祭とは
(二) 維新後の山国隊
(三) 平安遷都千百年記念祭
(四) 平安神宮と時代祭
(五) 山国隊から維新勤王隊へ
(六) 鼓笛軍楽の伝播
第二部 各論
一 山国隊と鼓笛軍楽
(一) 幕末の鼓笛軍楽
(二) 山国隊の鼓笛軍楽 結びに代えて
二 山国隊の東征装束
(一) 陣中装束の変遷
(二) 現存する東征装束 結びに代えて
三 山国隊と維新勤王隊の小銃
(一) 「山国隊」の小銃
(二) 「維新勤王隊」の小銃
(三) 建軍期日本陸軍の小銃 結びに代えて
○隊士一覧 おわりに 主な参考文献

[ご注文・お問い合わせ]

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6 URL <http://kinseisha.jp/>
電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892

書店様番線	注文数	丹波・山国隊 —時代祭「維新勤王隊」の由来となった草莽隊—	定価:本体1800円(税別) ISBN978-4-7646-0343-1
	冊		
	お名前		
	〒 ご住所		
		お電話	

注文書